

令和8年度

「運営に関する計画」

4.22

大阪市立北田辺小学校

令和8年4月

大阪市立北田辺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

北田辺小学校は、令和5年度に学校創立90年を迎えた本市の中でも伝統ある小学校の一つである。作家の開高健を輩出するなど卒業生で活躍している人材は多く、また、三世代にわたって本校に通っているという学校に思い入れのある家庭や、下町情緒を感じさせる人情味あふれる地域の特色にも支えられて、穏やかで安定した学校運営がなされている。

子どもたちも比較的落ち着いた学校生活を送っているが、他校と同様に喫緊の課題も山積しており、中期目標の達成に向けて次のような分析と課題設定を行う。なお、令和8年度から令和10年度の3年間、大規模な増改築工事を行うため、子どもたちの学習環境が大きく変化する。そのため、年度目標の数値設定は柔軟に対応する必要がある。

- ① 世界の多様な変化に対応し、児童の心の教育を充実させ、子どもたちの不安感を取り除くことはもとより、混乱した社会の中で倫理観や道徳心を身につけさせる。そのために、道徳教育・人権教育の充実を図る。いじめ・体罰・虐待を含め、児童の生活実態に対するアンケート項目について、前年度水準以上もしくは高水準の維持を目標とする。
- ② 熱中症対策や感染症対策が喫緊の課題である。また、アレルギー症状のある児童への対応も引き続き重点的に取り組む必要がある。よって、子どもたちが安心して成長できる学校環境の整備に努める。（熱中症の減少や、引き続きアレルギー症状による事故ゼロ等、健康に関する調査で、前年度水準以上もしくは高水準の維持を目標とする）。
- ③ 新学習指導要領の実施に当たり、学びの充実を課題に設定する。小学校での言葉の力を身に付けさせるため、語彙力を増やし、活用力を高めていく。議論できる学級づくりを基本として、「学校の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と答える児童を維持することを目標とする。
- ④ 「全国体力・運動能力、運動状況等調査」に向け、体育的行事はもとより普段の授業や休み時間の運動機会を十分に確保し、「体を動かしたり遊んだり、運動をしたりすることが楽しい」と答える児童を維持することを目標とする。
- ⑤ 児童の人間力を高めるためには、座学だけではなく音楽・図工・家庭科等の教科指導はもとより、児童会活動、クラブ活動、宿泊行事、音楽・芸術鑑賞等の集団活動や情操教育が重要である。時間の確保が困難な状況が予想されるが、できる限り前年度までの取り組みが継続できるように努力する（アンケートにより、学校生活の満足度が低下しないことを目標値とする）。
- ⑥ 特別支援学級に在籍する児童は多い。これまでも子どもに寄り添う丁寧な指導を実現してきたが、共生社会の実現をめざしたインクルーシブ教育の実践においては、障がいに対する深く正しい理解が重要である。今後も区役所や関係諸機関との連携を強化するとともに、ユニバーサルデザインの視点から授業改善を進め、インクルーシブ教育の推進を図る。

中期目標（大阪市教育振興計画に基づく令和11年度末までの目標）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における、平均正答率の対全国比を1.00以上にする。
- 令和11年度の小学校学力経年調査における、ボリュームゾーン※1にあたる層の変化率を1%以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における、学力に課題の見られる児童の割合の全国との差※2を0%以下にする。
- 令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における、体力合計点の対全国比を1.10以上にする。

※1：児童の学力状況から、学力の高い順に25%区切りで、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの4つに分けたとき、区分Ⅱと区分Ⅲの児童の学力の変化率を「ボリュームゾーンにあたる層の変化率」とする。学力の変化率は、 $(\text{小6の平均標準化得点} - \text{小3の平均標準化得点}) \div \text{小3の平均標準化得点} \times 100$ で算出する。

※2：児童全員の正答数分布の状況から、正答数の高い順に概ね25%区切りで、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの4つに分けたとき、区分Ⅳの割合を「学力に課題の見られる児童の割合」とする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- 令和11年度の本市調査（システム集計）における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を20時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

運営に関する計画（年度目標の総括シート）

〈安全・安心な教育の推進〉

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.3%以上にする。【R7 86.2%】
- 小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89.5%以上にする。【R7 89.4%】
- 年度末の校内調査において「不登校児童の在籍比率」及び「前年度不登校児童の改善の割合」を前年度以上に改善する。【R7 在籍率 2.27% 改善率 83.3%】

〈未来を切り拓く学力・体力の向上〉

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を 0.01 ポイント向上させる。
【R7 6年 1.08 / 5年 1.01 / 4年 1.13 / 3年 1.07】
- 小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント減少させる。
【R7 6年 10.6 / 5年 25.0 / 4年 12.5 / 3年 12.3】
- 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
【新規項目】
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに 0.01pt 以上向上させる。
【R7 男 1.00 / 女 1.09】

〈学びを支える教育環境の充実〉

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
【新規項目】
- 本市調査（システム集計）における教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を 30 時間以下にする。
【R7 21 時間 01 分】

大阪市立北田辺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>●小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86.3%以上にする。 【R7 86.2%】</p> <p>●小学校学力経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89.5%以上にする。 【R7 89.4%】</p> <p>●年度末の校内調査において「不登校児童の在籍比率」及び「前年度不登校児童の改善の割合」を前年度以上に改善する。 【R7 在籍率 2.27% 改善率 83.3%】</p>	<p>A</p> <p>・</p> <p>B</p> <p>・</p> <p>C</p> <p>・</p> <p>D</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現（基本的な方向1）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が「学校が楽しい」と思うような学年経営・学級経営を行う。 ・いじめの未然防止や早期発見、解決に取り組むとともに、児童がいじめについて考える場を設定する。 	<p>A</p> <p>・</p> <p>B</p> <p>・</p> <p>C</p> <p>・</p> <p>D</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動、委員会活動の充実を図り、異学年交流を通して、仲間とのふれあい活動をもてるようにする。 ・学級を中心に楽しい活動を学期に1回以上実施する。 ・「いじめアンケート」を学期に1回実施する。 	
<p>取組内容②【豊かな心の育成（基本的な方向2）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で、自分や友だちのいいところを伝え合う活動を行うことにより、自尊感情を高め、他者への理解を深める。 	<p>A</p> <p>・</p> <p>B</p> <p>・</p> <p>C</p> <p>・</p> <p>D</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる教育活動の中で成功体験を増やせるよう、一人一人の児童が活躍できる場を設定し、その頑張りを認め合う場を設ける。 ・学校アンケートで「友だちのいいところを見つけて伝えている。」に肯定的に答える児童を86%以上にする。 	

<p>取組内容③【安全・安心な教育環境の実現（基本的な方向1）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校をよりよくしていくために自分にできることをしっかりやろうとする意識を高めるとともに、具体的な目標を設定し、その目標の達成に向けて学校全体で努力するよう指導していく。 ・LINE などの SNS や、メールを使用してのいじめが起こらないように、児童にスマートフォンや携帯電話を持たせる保護者へ、家庭での使い方のルール作り、トラブル対応などの協力を求めている。 ・不登校児童の適応指導を大切にしたい、別室登校や環境づくりの態勢を整える。 	A ・ B ・ C ・ D
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ろうかを走らない」「トイレのスリッパをそろえる」等、具体的な目標を挙げ、成果と課題を明確にし、指導を継続して行う。 ・学校アンケートで、「時間を守る、遊びのきまりを守る、トイレのスリッパを並べるなど、学校の規則（みんなのやくそく）を守っている。」の項目で、肯定的に答える児童を95%以上にする。 ・不登校の児童、その保護者の思いを把握した上で、一人一人に合った取り組みを進め、児童の健やかな成長に連携して取り組む。 ・ほっとルームの活用、スクールカウンセラーの連携、子どもサポートネットや外部機関と連携を定期的に行い、個に応じた指導に取り組む。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後（次年度）への改善点	

大阪市立北田辺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を0.01ポイント向上させる。【R7 6年 1.08 / 5年 1.01 / 4年 1.13 / 3年 1.07】 ●小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント減少させる。【R7 6年 10.6 / 5年 25.0 / 4年 12.5 / 3年 12.3】 ●小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。【新規項目】 ●全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに0.01pt以上向上させる。【R7 男 1.00 / 女 1.09】 	<p>A ・ B ・ C ・ D</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上（基本的な方向4）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかる楽しさ、できる喜び」を実感させるよう、学習形態を工夫し、主体的に学ぶ習慣を身につけさせる。 ・「議論できる学級」を経営し、児童に話し合い活動を通して自分の考えを伝え、友達の考えを知ったり、比較したりすることで、考えを広げたり深めたりする。 	<p>A ・ B ・ C ・ D</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究「算数科」を中心に、研究主題を大切にしたい授業研究を計画的に実施する。 ・他教科においても話し合い活動を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」を行うための具体的な方法を考え、議論できる授業展開を工夫する。 ・学校アンケートの「自分の考えを発表したり、文で書いたりしている」を肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 	
<p>取組内容②【健やかな体の育成 基本的な方向5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科の授業において、指導の方法を工夫し、児童が楽しみながら体力・運動能力の向上を図ることができるように努める。 ・体育的行事や体力づくりの週間、運動場だけでなく様々な場で運動に慣れ親しむ指導を工夫し、限られた場所を工夫し学校全体を活用して体力・運動能力を高められるように環境づくりに努める。 	<p>A ・ B ・ C</p>

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度と同等かそれ以上にする。 	<p>・ D</p>
<p>取組内容③【誰一人取り残さない学力の向上（基本的な方向4）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的読解力育成カリキュラム」を活用し、3年生から総合的読解力育成の時間（リベラルアーツ教育）を実施し、言語活動・理数教育を通して、思考力・判断力・表現力等の育成に取り組む。 	<p>A ・ B ・</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 	<p>・ C ・ D</p>
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>今後（次年度）への改善点</p>	

大阪市立北田辺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>●小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。【新規項目】</p> <p>●本市調査（システム集計）における教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を30時間以下にする。【R7 21時間01分】</p>	<p>A</p> <p>・</p> <p>B</p> <p>・</p> <p>C</p> <p>・</p> <p>D</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進（基本的な方向6）】</p> <p>児童が主体的にICTを活用できるように、学習者用端末の使用機会を多く設定する。「M365」「GWS」「Canva」等を積極的に使用し、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をする。</p>	<p>A</p> <p>・</p> <p>B</p> <p>・</p> <p>C</p> <p>・</p> <p>D</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で活用するために、校務のICT化をすすめる。 ・ICT研修会を年3回以上実施し、児童への指導に活かす。 ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業数の80%以上にする。 	
<p>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり（基本的な方向7）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議等の精選や設定日を工夫することでゆとりを持てる日を増やす。 ・学校行事の簡略化をし、授業時数を削減する。 	<p>A</p> <p>・</p> <p>B</p> <p>・</p> <p>C</p> <p>・</p> <p>D</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の進行方法を工夫し、会議の効率化を図る。 ・ゆとりの日を週に1回設定する。 ・行事毎にその行事の振り返りを行う。（簡略化のための。） 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後（次年度）への改善点	